

一 見はるかす下総台地

風薫る美し国原

鵬雛ここに生いたちて

雲居に高く相搏てば

三年の鍛へけはしくも

翠巒はるか仰ぐかな

三 江戸川の流れ豊けく

時じくの緑の里よ

郷土の誇りうけ紹ぎて

叡知をふかく磨き添え

秀眉こぞりていざあげむ

栄光ある明日を拓くべく

二 天離る芙蓉の麗姿

青垣の筑波ぞ近き

互みに励め若き日を

汗して語れ師と共に

培ふ美果の香にも似る

潔き心を求めゆかむ